

福島工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	財務会計
科目基礎情報					
科目番号	0080		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科		対象学年	4	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	『日商簿記2級とおるテキスト 商業簿記—第3版—』ネットスクール出版。『日商簿記2級とおるトレーニング 商業簿記—第3版—』ネットスクール出版。 ※なお、最新版があればそれを利用する。				
担当教員	安部 智博				
到達目標					
中規模の株式会社における会計データの作成ができる。学習の水準として日商簿記2級程度（商業簿記）の問題が解けるようになる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。		各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。
評価項目2					
評価項目3					
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	中規模程度の株式会社で用いられる簿記を学ぶ。講義を行い、問題を解く。				
授業の進め方・方法	中間試験と期末試験（各90分）を行う。 試験80%、課題20%で総合的に評価し、60点以上を合格とする。 再試験は40点以上の者に対して行う。 この科目は、学修単位科目のため、事前・事後の学習として問題演習（課題）を実施する。				
注意点	授業中に問題演習を行います。時間的な制限もあり自主的な学習が必須となります。仕訳を通じて各取引の特性を理解してください。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	財務会計の概要 報告式の財務諸表	報告式の財務諸表とその構造について理解する。	
		2週	商品売買 棚卸資産の評価	期末商品の評価ができ、財務諸表が作成できる。	
		3週	手形 (1) 裏書, 割引, 売上割引・仕入割引	仕訳ができる。	
		4週	手形 (2) 電子記録, 更改, 不渡	仕訳ができる。	
		5週	固定資産 (1) 建設, 割賦購入, リース	仕訳ができる。	
		6週	固定資産 (2) 定率法, 生産高比例法,	減価償却費の計算と仕訳ができる。	
		7週	固定資産 (3) 買換え, 除却, 廃棄, 滅失, 圧縮記帳, 無形資産の処理	仕訳ができる。	
		8週	中間試験		
	2ndQ	9週	有価証券 (1) 関係会社の有価証券, その他有価証券, 売買目的有価証券	仕訳ができる。	
		10週	有価証券 (2) 満期保有目的の債券, 利付債券の売買	仕訳ができる。	
		11週	外貨建取引と引当金 外貨建取引, 為替予約, 評価性引当金, 負債性引当金	仕訳ができる。	
		12週	純資産会計 設立, 増資, 買収, 配当, 欠損, 株主持分等変動計算書の作成	その処理資本構成, 合併買収, 剰余金税金の種類を理解し、仕訳ができる。	
		13週	税金 税金の処理, 税効果会計	仕訳ができる。税効果会計の処理ができる。	
		14週	決算の概要 本支店会計, 連結会計	本支店会計の概略が理解できる。連結会計の概略が理解できる。	
		15週	復習	解説	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	経済・ビジネス系分野 会計	各種取引について仕訳および転記することができる。	4	
			決算整理手続きができる。	4	
			財務諸表を作成できる。	4	
			貸借対照表の区分と内容について説明できる。	3	

			損益計算書の区分と内容について説明できる。	3	
			連結財務諸表の連結の範囲について説明できる。	2	
			連結財務諸表の作成について説明できる。	2	

評価割合

	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	40	10	0	0	0	0	50
専門的能力	40	10	0	0	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0